

あたらしい明日へ

2013年
新春号

東京労福協

新年のご挨拶



東京労働者福祉協議会
会長 遠藤 幸男

東京労福協に加盟する団体およびすべての関係者の皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は、国連が宣言した「国際協同組合年」の年でしたが、東京労福協は、文字通りの協同組合である東京都生協連、労金東京、全労済東京が加盟しており、労働団体である連合東京や都労連、東京高退連などの7団体もすべてが非営利の団体であることから、2012年の中心的課題として、1月

23日結成の「2012国際協同組合年東京都実行委員会」への参加をはじめ、協同組合の認知度を高めるための多様な取り組みを展開いたしました。まさに、協同組合が、市場経済至上主義がもたらした格差と貧困などの様々な負の遺産を修復させるべく、地方や地域の活性化、失業・非正規雇用問題の解決、環境保全や福祉の向上、自給率向上や食の安全の確保などの大きな課題に対して力を発揮し、社会に貢献していく運動づくりのスタートとして、それぞれの加盟団体が、全力をあげた年となりました。

しかし、残念なことに、3年3ヶ月続いた民主党政権が、12月16日の衆議院総選挙において、民主党が歴史的な大惨敗を喫したことにより、議席の三分の二を超える自公政権が誕生しました。このことによって、これまで進

められてきた非正規雇用対策、高齢者雇用安定法、求職者支援制度、日雇派遣原則禁止、最低賃金引き上げ、高校授業料無料、子育て財源増、生活保護母子加算復活など多様な支え合いを基本理念とする社会的包摂政策が否定され、安倍政権によって、市場原理主義社会に巻き戻される危険な兆候が始めています。私たちは、このことに危機感を持ち、しっかりと対峙し、粘り強い地道な活動を進める決意を持ち合う必要があります。

今年1年、東日本大震災の復興支援活動の継続を含め、加盟団体が一丸となって、「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」をめざし、自信をもって前進していきましょう。



労働者福祉中央協議会
会長 古賀 伸明

新年明けましておめでとうございます。

昨年の国際協同組合年にあたり、中央労福協は協同組合の社会的価値の浸透や利用促進に向けて全国的なキャンペーン活動を展開してきました。改めて皆さまのご協力に感謝申し上げます。

この取り組みを通じて、協同組合と労働組合との連携強化についても様々な議論を行ってきました。私からも、最も共助を必要とする人たちが共助の仕組みに参加できてい

ない現状を指摘し、共助の輪を拡大していくことの重要性を問題提起しました。たとえば、非正規労働で失業し、公的な所得保障が充分ではない人々を対象とした共済・融資や、リスクをみんなでシェアする基金のような仕組みがつかれないかということです。

今年はいくつかの課題について一歩踏み出し、具体的な形にし、労働組合と協同組合が手を携え、できるところから行動に移していく年にしたいものです。

師走の総選挙の結果、新自由主義・「弱肉強食」社会への回帰も懸念される政治状況になっていきます。社会の不安定化が許容限度を超え、社会の持続性そのものが問われる中で、これ以上の貧困・格差の拡大、生活や労働の破壊を許すわけにはいきません。前政権の成果である社会的包摂政策や「生活支援戦略」

を後退させず、生活困窮者が貧困や社会的孤立から脱却していけるような寄り添い型の生活就労支援体系を整備していくことが切実に求められています。

市場経済だけでは解決できない諸課題を克服していくために労働運動や協同組合運動に求められている役割と責任は益々大きくなっています。国際協同組合同盟（ICA）は昨年10月に「協同組合の10年計画」を決定し、経済・社会・環境の持続可能性を高めることにおいて協同組合がリーダーシップを発揮することを目標に掲げ、新たな挑戦を開始しました。

私たちも、国際協同組合年の取り組みを契機として「連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会」に向かって確信をもって進んでいきましょう！

東京労福協にご協力頂いた皆様から
新年のメッセーじが届きました。

ご紹介致しますと共に、
皆様への応援メッセーじも
お待ちしております。

昨年、伝えるをテーマに「イシノマキにいた時間」という舞台
を全国で公演させて頂きました。

10月には、ささえるつながる・たすけあう【ぜんろうさいエール
フェスタ2012】でも、少しカタチを変えた【写真で届けるイ
シノマキにいた時間】として、震災から1年半が経った石巻を伝
えさせて頂きました。

今年も『温かく、楽しく、そして悲しかった、あの頃の石巻』を
感じてもらい、今の石巻を伝えられればと思っています。8月、
全労済ホールでは、東京では4度目の再演となる舞台【イシノ
マキにいた時間】を上演させて頂きます。

みなさんのチカラをお貸しください！
今年もよろしく願います。



イシノマキにいた時間
演出・出演 福島 カツシゲ



荒波牡蠣復活委員会 会長 石森 裕治

昨年の50周年では、多くのみなさまにお会いするこ
とができ、本当にありがとうございました。おかげさま
で、2012年11月末日まで、荒波牡蠣オーナーの
皆様も2091口となり、被災した石巻東部5か所
の荒波牡蠣処理場も、2012年11月福貴浦浜に1
棟、2013年1月狐崎浜に1棟の建設が出来まし
た。あと2棟の処理場建設と、荒波牡蠣のブランド化
を目指しますので、今年もよろ
しく願っています。

荒波牡蠣復活委員会 検 索

昨年は、50周年おめでとうございました。いつもご受援
ありがとうございました。

楽器を持つ漫才（ボーイズ）が激減する中、音楽と笑いの
楽しさを全国でご覧頂きたいと願っています。お
音楽で「絆」、笑いで「健康」、毎日楽しく働けるお手伝い
が出来ればと。



モダンカンカン、バラクーダ、アंक
ルベイベー、仲間といっしょに今年も
楽しいライブをお届けします。
歌謡漫談 東京ボーイズ 仲 八郎

ナカハチ友の会 TEL.&FAX 03-3906-8316

明けましておめでとう、ございます。

新しい年を迎えましたが、残念ながらあまり明るい見
通しがありません。勤労者、高齢者、女性、子供たちが大
事にされる政策が見られないからです。

でも、私たちに仲間がいます。同志がいます。
ガツチリと手を組んで頑張りましょう。

ジャーナリスト 二木 啓孝



日本BS放送(BS11) http://www.bs11.jp/

貴団体の皆様が、子育て支援・絵本の読み聞かせなど
をされていると聞き、同じ志で制作した映画「じんじん」
をぜひみなさまの団体にもご覧頂きたいと感じました。

どの人も親に愛された記憶こそが、後の人生を生きる
力の根源になるのではないのでしょうか？今までとは違う
スローシネマ方式（劇場公開に頼らず、数年かけてゆつ
くりと全国のニーズある団体を回る）を取るこの映画に、ご
興味をお持ち頂けたら幸いです。
今年もよろしく願います。



俳優 大地 康雄

じんじんオフィシャルページ http://www.jinjin-movie.com/

2013年度東京労福協役職員名簿

役職名	氏名	所属団体名
会 長	遠 藤 幸 男	連合東京
副 会 長	大 野 博	連合東京
〃	池 谷 匠	中央労働金庫東京都本部
〃	高 須 則 幸	全労済東京都本部
〃	伊野瀬 十三	東京都生活協同組合連合会
事務局 長	大 森 栄 司	連合東京
事務局 次 長	加 藤 貢	連合東京
〃	松 村 章 治	中央労働金庫東京都本部
〃	荻 野 里 美	全労済東京都本部
幹 事	須 永 謙 治	連合東京
〃	小 俣 要	都労連
〃	田 村 和 彦	中央労働金庫東京都本部
〃	小 松 宏 志	全労済東京都本部
〃	竹 内 誠	東京都生活協同組合連合会
〃	青 木 美 仁	（公財）東京労働者福祉厚生協会
〃	大 山 精 一	（株）勤労者サービスセンター
〃	岩 崎 照 明	（財）東京労働者福祉基金協会
〃	横 山 秋	日野市労福協
〃	宮 崎 安 基	東京高退連
〃	本 田 敬 憲	中央労働金庫東京都本部
〃	神 山 民 夫	全労済東京都本部
〃	天 井 修	東京労働者福祉協議会
顧 問		

東京国際労働事情研究会の 海外視察事業

平成24年度は、12月5日から12月10日（5泊6
日）まで、14名の団員により、オーストラリア連邦の
視察事業を実施した。

今回の視察は、リーマン・ショック以降、政府による
大型財政出動、準備銀行による積極的な利下げ
などの矢継ぎ早な対策、さらには、中国をはじめと
する海外の底堅い資源需要が下支えとなり、除々
にはあるが個人消費が持ち直し、主要国の中で
唯一景気後退を回避したオーストラリア連邦の状
況について、シドニー日本商工会議所およびジェトロ
シドニー事務所に訪問し、政治行政、経済、日豪経
済関係等の説明を受けた。

オーストラリアは、労働者の権利意識が非常に
強い国柄で、労使が協調して何かを行うというの
は極めて難しい国であること、日本の製造業者電
機・自動車産業）が賃金と材料のコスト高のため90
年後半から撤退したこと、寿司・ラーメン・和牛ス
テーキ等の日本食文化が序々に浸透していること
などの話は、特に印象として残った。



総会記念講演

「野球人生を通じて思うこと」

山中 正竹氏



総会記念講演では、東京六大学野球で不滅の
48勝した「小さな大投手」山中正竹氏を講師に
招き「野球人生を通じて思うこと」と題した講
演を行った。

少年時代から東京六大学野球に憧れ、大分
県の佐伯鶴城高から法政大学に進み、東京六大学
野球史上最多となる通算48勝をマーク、江川
卓（巨人軍）の47勝を上回る伝説のサウスポー投
手である。卒業後は住友金属に入社し、都市対
抗8年連続出場、その後同監督を歴任し都市
対抗1回、日本選手権2回の優勝に導き、その
後も、オリンピックの日本代表コーチや監督を歴
任し、銀メダルを獲得された。

講演の中で、幅広い人脈を語っていただき、法
政三羽ガラス「山本浩二・田淵幸二・富田勝」との
交友関係、山本氏の投手から打者転向、田淵氏
と同室で打者への配球研究、富田氏の義理堅さ、
超高校級だった同期の江本孟紀氏との初マウン
ドの闘い、小久保裕紀氏の仲人と2千本安打、
稲葉篤紀氏への打撃に対する自信づけ等、楽し
い裏話を聞くことができました。

五団体セミナー

連合東京・中央労働金庫東京都本部・
全労済東京都本部・東京都生協連・東京労福協

「協同組合運動の精神と賀川豊彦から学ぶもの」

～国際協同組合年(2012)によせて～

10月30日(火)田町交通ビル6階大ホールにて、270人を超える参加者でセミナーを開催した。基調講演は、賀川豊彦記念館・松沢資料館より、加山久夫館長をお招きし、賀川豊彦氏が社会運動を行う原点となった神戸スラム時代での救貧活動、貧困を防ぐための社会的セーフティネットとしての、労働運動・農民運動・協同組合運動の立ち上げ、国際協同組合年に向けての協同組合の展望や協同組合の理念など講演いただき、協同組合がよりよい社会を築く為は何をすべきか、協同組合組織の認知度を高めるためにどう活動を展開して行けば良いか、大変参考となったセミナーでした。



労働者福祉東部ブロック協議会 第6期福祉リーダー塾

第6期福祉リーダー塾は、三島市・東レ総合研修センターで、前半(7月6日～7日)・後半(9月14日～15日)の2回に分けて開催した。この福祉リーダー塾で学ぶ概要としては、労働運動や労働者福祉運動の理念と歴史、地域社会との共生、働くことを軸とする安心社会、労働金庫・全労済運動の基本方向と今後の展望等です。今回の受講者は前半26名、後半24名、卒業生は24名となりました。東部ブロック協議会結成40年を契機にスタートした人材育成事業の福祉リーダー塾も6年が経過し、これまでの卒業生が137名となりました。第7期福祉リーダー塾については、あらためてご案内させていただきます。多くの皆さまの参加をお待ちしております。



編集後記

安倍内閣、社会不安や先の見えない時代にある。このような時だからこそ社会に右往左往しない確固たる自己の確立が必要であろう。東京労福協50年、運動の原点をしっかりと踏まえ地に足のついた着実な一歩を踏み出す。蛇は脱皮をすることから再生の象徴とも言われる。「あたらしい明日へ」のタイトルに負けないよう、新しい自分に生まれ変わる、人生の転機とするぐらいの意気込みは持ちたいものだ。



ろうきんは「いつまでも身近で
信頼される生活応援バンク」を
目指します

雇用・所得情勢等の勤労者を取巻く環境は依然として厳しい状況が続いていますが、ろうきんでは組合員・勤労者の生活応援につながる「低利融資の提供」をはじめ、「家計見直し提案」や「計画的な貯蓄の提案」、「相談会開催(退職準備セミナー・住宅ローン等)」を会員・組合員の皆様の協力を得ながら実施しております。

＜ろうきん＞は、これからもはたらく皆さまの暮らしに役立つ様々な商品・サービスを通じて、皆さまの夢や暮らしを応援してまいります。



茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨の店舗でお待ちしております。



ろうきんイメージモデル 高垣麗子

東京労福協設立50周年記念レセプションを開催

12月17日、ホテルラングウッドにおいて、第50回の定期総会とあわせて、「東京労福協設立50周年記念レセプション」を開催した。

東京芸術大学のメンバーによる弦楽四重奏の演奏でお出迎え、開会挨拶、遠藤会長の主催者代表挨拶、中央労福協・山本副会長、連合東京・大野会長、東京経営者協会・田中専務理事、東京都産業労働局雇用就業部・穂岐山部長、東京労福協・天井顧問の5名の方からご挨拶をいただいた後、乾杯。続く歓談では、労福協東部ブロック、東京国際労働事情研究会、友誼団体、元役員と多彩な180名の参加者の皆さんが交流した。最後を飾ったのは、荒川区在住の神山兄弟による津軽三味線、迫力ある演奏に引き込まれた。皆様のご協力により、成功裡に終了した。



ぜんろうさいエールフェスタ2012(主催)全労済東京都本部

2012国際協同組合年を契機に、全労済東京都本部が組合員や東日本大震災の被災地へ「エールを贈りたい」という気持ちを込め、「ささえろ」「つながる」「たすけあう」をテーマに、10月20日(土)・21日(日)、新宿の全労済ホール／スペースゼロにて『エールフェスタ2012』を開催しました。

震災復興ライブ・トーク、被災地の物品販売、防災訓練など多くのイベントや展示・体験ブースが開設される中、東京労福協も支援する「荒波牡蠣復活委員会」も出店し、牡蠣処理場の建設資金に寄与するため、焼牡蠣を販売しました。イベントには、約2,100名が来場され、盛大な催しとなりました。



ZENROSAL NEWS



信頼のところで築く。
安心を未来につなぐ。

全労済は、営利を目的としない保障の生協として
共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとり
ある暮らしをめざしています。出資金をお支払い
いただいて組合員になれば、各種共済をご利用
いただけます。

保障のことなら
全労済 東京都本部
全労済労働者共済生活協同組合連合会 (東京労働者共済生活協同組合)